

宗像市市民参画等推進審議会会議録（要旨）

日 時	平成29年10月30日（月）14：00～17：00
場 所	メイトム宗像202会議室
委 員	*■出席 □欠席（五十音順、敬称略） ■ 井上豊久 ■ 川野顕太郎 ■ 木村健次 ■ 佐藤靖成 ■ 種田明美 ■ 時枝寛 ■ 東博子 ■ 福岡佐知子 ■ 山田明 ■ 吉田晴希 （五十音順、敬称略）
事務局	コミュニティ協働推進課（中野課長、中協係長、櫻井、元岡、神）

1. はじめに（14：00～14：05）

コミュニティ協働推進課中野課長からあいさつ

ご多忙の中出席いただいたことへのお礼。14時から17時までの長丁場となるが、協働化提案制度の申請内容についてご審議よろしくお願いしたい。

井上会長からあいさつ

本審議会委員は、今年度から10名中6名が新たに委員として就任された。本日は、市民参画条例や本審議会の役割等について新任の委員さんにご理解いただくため、副会長にご説明いただく。正副会長は、来年度に任期10年目を迎え、退任予定である。その点も踏まえて、今後、委員の皆さんにはよろしくお願いしたい。

2. 市民サービス協働化提案制度に係る諮問（14：05～14：10）

中野課長から井上会長へ諮問書の手交

3. 市民参画条例等について（14：05～14：10）

東副会長から別紙資料に基づき説明

本審議会や協働化提案について、市民参画条例に記載してある。条例策定に、審議会委員として関わった。内容について、本日改めて説明したい。

資料：・宗像市市民参画等推進審議会の役割

- ・宗像市市民参画、協働及びコミュニティ活動の推進に関する条例パンフレット
- ・宗像市市民参画条例審議会の検討項目

4. 協議事項等

- （1）平成29年度（平成30年度開始コース）市民サービス協働化提案制度の審査方法等について

- ・事務局から、次第書「平成２９年度宗像市市民サービス協働化提案制度の審査について」を基に説明
- ・事務局から、次第書「事前学習会タイムスケジュール」を基に説明

《質疑応答等》

（質疑）採択、不採択の基準はどうであるか。

（事務局より応答）原則、全体の５０％の２０点以上で採択となる。各審査項目につき２点以上が必要である。

（２）個別提案（３件）の詳細等について

ゴミ問題を考える住民の連合会・宗像「ごみ減量・リサイクル推進事業」 市関連部署；環境課

環境課から、団体及び事業内容について、資料（P13）及び次第書（P5）「前回審査時の特記事項等」に基づき説明

《前回審査時の特記事項等の確認》

（担当課に対して）

- ・継続して活動していけるように、提案団体への適正な経費を検討してください。
→平成２８年度に実施した講座１回あたりにかかる時間は準備等含めて２時間程度で、費用は約３万４千円であった。この経費は十分であり、スキルアップのための勉強や資料作成等にかかる費用もこの中でまかなえるのではないかと考える。
- ・更に広報に努めてください。
→担当課と団体とで、市民の方が読みたくなる広報紙作成等の勉強に取り組んでいる。お手元に配布した広報紙６月１５日号には、実際に段ボールコンポストに取り組んでいる方の声を掲載させてもらった。また、若い方にも関心をもってもらえるよう市公式フェイスブックを利用した情報発信を行ったり、地域おこし協力隊のジェケルさんに段ボールコンポストのモニターになっていただき、地域おこし協力隊のSNSで世界に取組活動を発信していただいたりしている。
- ・市民サービス協働化提案制度への取り組み姿勢について、見直してください。
→市民の皆さんにゴミの分別やリサイクルに取り組んでいただいているおかげでゴミは年々減少傾向にあるが、生ゴミに関しては各家庭から排出される約３５～４０％を占めている。当課としては、段ボールコンポストは生ゴミ減量に有効的な手法の１つと考えているため、講座の実施により段ボールコンポストを市民に広く普及啓発し、生ゴミの減量につながるという目的を団体ときちんと共有しながら事業の実施や効果の検証等を十分に行い、今後も協働で取り組んでいきたい。

《質疑応答等》

（質疑）資料１２ページは、ごみ住連が提案した資料なのか。

(担当課より応答) そうである。

(質疑) 活動費の詳細を教えてください。

(担当課より応答) 次回、詳細の資料を準備する。

(質疑) 予算・決算書の収入繰越金と委託料前年度残の区別がつかないが。

(担当課より応答) 団体に確認して次回、回答する。

(質疑) SNSを使って若い世代に情報発信しているとのことだが、若い世代は集合住宅に住んでいて堆肥化後の対応が難しいと思う。そのサポートはどうしているか。何かサポートをしているのなら案内もしているか。

(担当課より応答) 作って行き場がないものは環境課で回収している。広報紙でも案内をしている。

(質疑) 実績は、増えていないのか。

(担当課より応答) 16ページに実績を記載している。H22～25年度で18%増、H26～28年度で50%増と、確実に増えている。

(意見) 段ボールコンポストを利用した人がどういった変遷をしているか、効果を知りたい。

(質疑) 設置型コンポストの広報はしているか。

(担当課より応答) 設置型も補助をしているが、今回の協働化提案制度に関しては段ボールコンポストに特化している。設置型は一般家庭には難しい。

(質疑) 広報について、SNSとタウンプレス以外は考えていないか。

(担当課より応答) 今のところ考えていない。

(質疑) 商業施設へのポスター掲示はしていないか。

(担当課より応答) ゆめタウンやサンリブ等で行っている。

(質疑) 配布資料の10ページに世帯数が記載されており、現在3290世帯とのことだが、今後も増えるだろうか。

(担当課より応答) 今後もそうなるよう、団体さんには取組みを引続き継続していただきたい。

特定非営利活動法人男女共同参画ゆいネット宗像「男女共同参画推進事業の実施及びセンター管理運営業務」

市関連部署；男女共同参画推進課

男女共同参画推進課から、団体及び事業内容について、資料(P33)及び次第書(P5)「前回審査時の特記事項等」に基づき説明

《前回審査時の特記事項等の確認》

(団体に対して)

- ・市民団体が企画・運営する良さが見られる事業に、今後、積極的に取り組んでください。
→スタッフ体制に関しては、団体さんにしていただくことで、市職員の異動に伴うスキルの低下がなく、スキルアップが図れる。講座の開催時間に関しても、団体さんにしていただくことで、日中夜間、平日休日問わず幅広い時間帯で実施していただいている。直営ではなかなかできないサロンの充実が図れている。
- ・他の機関等との連携の充実、人権全般との関わりに留意をしてください。
→庁内各課、コミュニティ、小中学校PTAとの連携や事業の推進が出来た。
また、LGBTや女性の貧困を学ぶ講座の実施、各種研修参加により、他の機関との連携が図れた。

(担当課に対して)

- ・本事業で担当課の担う役割を明確にし、実施してください。
→定例会を行うことで団体との連携・意思疎通が出来た。また、センターに毎週1回
通い連携に努めた。担当課として他機関との連携・調査などを行っている。

《質疑応答等》

(質疑) 男性も女性もどちらも力をつけるという趣旨は分かるが、市民へのエンパワメント以外に、会社などの組織内での男女共同参画について、今後、事業内容に入れて、力を入れていくべきではないか。

(担当課より回答) 市民向けのエンパワメントに限らず、現在、市内の事業所にも働きかけている。

(質疑) 配布資料35ページの平成24年度の予算書は、市の直営の時の予算であるか。

(担当課より回答) そうである。

(質疑) どうして平成24年度なのか。

(担当課より回答) スタート前の最後の直営の予算を出した。

(質疑) 23ページの平成30年4月1日～平成31年3月31日の分は市の予算か。

(担当課より回答) あくまでも計画であるが、平成29年度ベースの金額である。

(質疑) あまり直営と変わらないのか。

(担当課より回答) 夜間開催講座等、事業の拡大が出来ている。

(意見) 過去4年間の中で事業内容がどのように充実したのか、また、参加人数等、変遷が分かる資料が経年分あると審査しやすい。

(担当課より回答) 当日に準備する。

(意見) 当日、提案団体は18、19ページの説明をすると思うが、利用者の変遷等も併せて話してもらえると協働化のメリットなどが分かりやすい。審査に必要な資料を重点的に準備してほしい。

(質疑) P T Aの協力の予算はP T A持ちであるか。

(担当課より回答) 子ども育成課の子ども家庭学級で、折半でさせてもらっている。

(質疑) 31ページの事業費の人件費と管理費の人件費はどのように区分しているのか。

(担当課より回答) 詳しくは団体に確認する。

(質疑) 28ページの講座の参加人数が多いが、その後の就職状況等の追跡調査はしているか。

(担当課より回答) 回答は任意であるが、している。回答率は約5割。辞めたり育休をとったりしているが、再就職するときに活かそうだとの意見ももらっている。アンケート結果は次回審査会の際に準備する。
受講者の方は皆熱心で合格率も高い。

(意見) 20ページを見るとカタカナが多くて分からない。分かりやすくしてほしい。
注釈を入れるなどの工夫を。

むなかた電子博物館運営委員会「海の道むなかた館展示活用事業」 市関連部署；郷土文化課

郷土文化課から、団体及び事業内容について、資料(P56)及び次第書(P5)「前回審査時の特記事項等」に基づき説明

《前回審査時の特記事項等の確認》

(担当課に対して)

- ・十分な実施体制が整えられるようにサポートしてください。
→電子博物館の運営委員会とイベントの企画立案・実施に職員が入っている。
- ・利用する市民を増やす取り組みを両者で行ってください。
→インターネットのみならずリアルな講座などを協力してやっている。また、子ども対象に夏の課外授業でPRした。他、アサギマダラ観察会を今年度初めて計画した。折に触れてPRしていきたい。

(質疑) 電子博物館を初めて知った。市民に浸透しているか。

(担当課より回答) 正直していないように思う。

(回答に対する意見) 沖ノ島が世界遺産になったので、電子博物館の名称を変えてはどうか。運営委員の人と今後検討してほしい。運営委員のメンバーがどこにも記載されていないので教えてほしい。

(担当課より回答) 当日資料を団体から準備する。

(質疑) 55ページの繰越金1,558,028円について、繰越金について限度はないのか。

(担当課より回答) ない。繰り越した理由は、電子博物館システム管理・保守の企業が利益重視で高く、支出が不可能になったためである。執行するよりしない方が効率的に支出できると思い、今年度分は来年度に支払う。基本的に受委託になるので限度はない。

(意見) 電子博物館の利用率が低い。コンテンツに世界遺産を入れるか入れないかがカギだと思う。ぜひ検討をしてほしい。

(質疑) 利用率の過去４年間のデータはどうやって分かるのか。

(担当課より回答) ４４ページにページビューがある。

(質疑) 量より質の問題を知りたい。

(担当課より回答) 博物館利用者の満足度と一緒に、測るのが難しい。普段博物館ではなかなか見られない、計り知れないリアルなものを Web で提供できる。

(質疑) 小学生の利用の紹介・促進はどのようにしているのか。

(担当課より回答) 世界遺産の副読書に子ども向けのムナカタ仙人を出して、電子博物館とリンクさせたい。

(質疑) 市政だよりなどのペーパーでのPRはしているか。

(担当課より回答) 今後していきたい。北斗の水汲み海浜公園でのイベントでもPRしている。海の道むなかた館発行のパンフレットに、電子博物館のQRコードなどを付けたい。

(意見) 世界遺産と抱き合わせて市HPへリンクさせるなど、HPに簡単に行きつくようにしてほしい。

５．その他

- ・何か意見があれば、審査会当日までに事務局までいただきたい。
- ・コミュニティ協働推進課とむなかた市民フォーラムとの協働企画のパンフレット紹介
- ・次回審議会の日程確認

＝ 散 会 ＝